

～世界2大塩田の塩づくり～

オーストラリア西海岸のシャークベイ塩田とカリフォルニア半島エル・ビスカイノ地区のゲレロネグロ塩田は世界2大塩田といわれており、どちらも世界自然遺産に指定された美しい環境に位置しています。

これらの塩田で、海水は2年～3年という長い期間を経て、太陽の熱と風のかにより天日塩に姿を変えます。

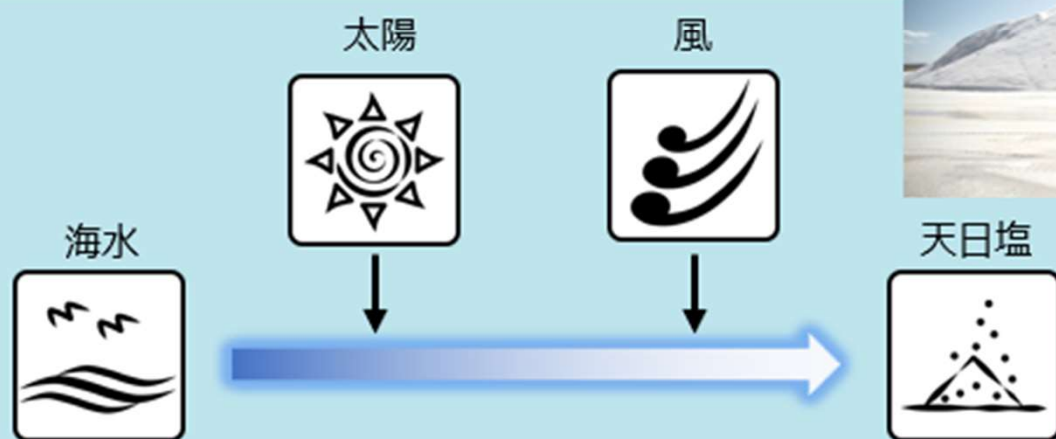
自然エネルギーを使った天日塩づくりは、周辺の動植物と共存する、地球にやさしいサステイナブルな取り組みといえるでしょう。



シャークベイ塩田



ゲレロネグロ塩田
ハーベスト風景



海の水を太陽と風のかで蒸発させて塩を作ります

自然エネルギーで作るといっても、海水を溜めるだけでは良い塩は作れません。海水には塩以外のさまざまなものが含まれており、これらを除去してキレイな塩をつくるのは人間の知恵と努力です。



シャーク湾
「ウミガメ」



エル・ビスカイノ地区
「ブロングホーン」



エル・ビスカイノ湾
「コククジラ」